若あゆ学級２組　　道徳科学習指導案

令和４年７月７日　火曜日　第２時　（若あゆ２組教室）

指導者　岩　佐　知　彦

１　主題名　規則の目的　C　規則の尊重

２　主題設定の理由

1. 価値観

規則を守ることで，個人や集団が安心して安全に生活することができる。そのためには，権利や義務という観点から，自他の行動などについて考えを深めたり，それらを尊重したりする必要がある。そこで，規則が存在する目的をさまざまな立場から考えることを通して，規則を尊重できる心を養いたい。

1. 生徒観

本学級の生徒は，男子２名である。周囲への配慮を欠いて自分勝手な行動をしてしまったり，その行動がどのような影響を与えるのか予想できなかったりするなど，規則や規範に対する考えが未熟な生徒がいる。そこで，規則を守る側に立って考えたり，規則を破ったときの影響について考えたりすることを通して，規則を尊重して行動できるようにさせたい。

1. 教材観

美術館の警備員のもとに入館時間を過ぎてから，２組のお客さんが美術館に入れてほしいと願い出る。警備員は，１組目の入館を断ったが，２組目にはどうしても入りたい事情があり，断り切れないでいる。警備員は，２組目を美術館に入れるか，入れないか葛藤する。警備員の葛藤する場面から規則がある目的について考え，規則を尊重する必要性に気が付けるようにしたい。

３　本時のねらい

1. 全体のねらい

о社会や自らが所属する集団の中にある規則の目的について考え，規則を尊重する気持ちをもつことができる。

1. 個人のねらい

個人情報のため省略。

４　準備・教材

　о教材名「おくれてきた客」　出典「ココロ部！」（NHK for school）

　о生徒･･･タブレット

　о教師･･･タブレット，大型モニター，SKYMENU（発表ノート），アンケート（Forms）

５　学習指導過程

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学　習　活　動 | 時間 | 指　導　上　の　留　意　点 |
| 導入 | １　規則を守ることの大切さや規則を破ってしまった経験について振り返る。・休み時間を過ぎてもタブレットで遊んだ。 | ５ | о規則を守る大切さは理解できているが，時に破ってしまうことがあるという矛盾をFormsによるアンケートによって捉えさせ，資料への興味・関心をひく。 |
| 展開 | ２　本教材を視聴し，警備員の立場とおばあさんの立場の両方で考える。

|  |  |
| --- | --- |
| 入れる | 入れない |
| ・おばあさんの気持ちを理解している。・規則を破った。・おばあさんを大事にしている。 | ・規則を守っている。・おばあさんの気持ちを理解していない。・何かあったら困る。・自分の責任になる。 |

３　役割演技を行い，おばあさんと警備員の気持ちに共感する。４　規則がある目的について考える。なぜ閉館時刻以降は，お客さんを入れてはいけない規則なのだろう。・何かあったときに対応できない。・美術作品を盗まれるかもしれない。・美術作品を見られなくなる。・仕事を失う人が出るかもしれない。 | 153040 | о大型スクリーンに投影する。о警備員は，規則を破って美術館に入れてやりたい気持ちがある一方で，規則を破っていけないと思っていることをおさえる。о発表ノートを配付し，投影する。美術館に入れるのと入れないのでは，どちらがよいですか。

|  |
| --- |
| 補どちらが悪いですか。補もし自分が警備員だったらどうしますか。 |

о動画の続きを投影する。оおばあさんの余命が残りわずかであることをおさえる。о再び発表ノートを配付し，投影する。о規則を破った方がお互いよい気持ちになることに気が付かせ，規則を守ることが大切だという考えに揺さぶりを与える。評入れる側と入れない側の両方の立場に立って考えている。（発表，役割演技）

|  |
| --- |
| 補閉館時刻以降にお客さんを入れると，どんなことが起きるかな。 |

о規則を破ると，自分だけでなく他の人にも影響が出てくることを捉えさせる。о動画を最後まで視聴する。 |
| 終末 | ４　授業の振り返り，これからの生活に生かせることを発表する。 | 50 | 評規則が存在する目的について考え，規則を尊重する気持ちをもっている。（道徳プリント，発表） |

６　本時の評価

　о規則を破る立場と規則を守る立場の両方に立ち，規則が存在する目的について考え，規則を尊重しようとする意欲をもっている。　　　　　　　　　　（道徳プリント，発表，役割演技）

７　備　　　考（指導の力点）

|  |
| --- |
| о導入で，生徒の価値観を揺さぶるアンケート（Forms）を行い，結果を円グラブで提示することで，生徒の興味・関心をひく。о映像資料を使うことで，生徒らが資料の内容を理解しやすいようにする。 |

　оICT機器を使用して動画を視聴させたり，終末以外で書く作業をなくしたりすることで，特別な支援を必要とする生徒が授業に集中できるようにする。

８　指導と評価